



カリオカの風

リオデジャネイロ日本人学校通信

3月15日号

令和6年3月15日

校長 小塚 広司

学校教育目標

「自他の生命と人権を尊重し、
ねばり強くたくましい心豊かな
児童生徒を育成する」

～世界の架け橋となる子ども
たちの育成を願って～



リオ日学 何かの終わりは、何かの始まり

1年間ご協力いただき、大変ありがとうございました

えだを はなれて ひとひら
さくらの はなびらが じめんに たどりついた
いま おわったのだ そして はじまったのだ
ひとつの ことが さくらに とって
いや ちきゅうに とって うちゅうに とって
あたりまえすぎる ひとつの ことが
かけがえのない ひとつの ことが

「さくらの はなびら (まどみちお)」

この詩が伝えたいことをこう考えます。

「何かの終わりは、何かの始まり」「当たり前
前のことこそ、かけがえのないこと」「時は
過ぎ去るのではなく、巡るもの」

桜には、人の心を動かし、考えさせ、明日
への希望を抱かせる力があります。この1年
を振り返り、リオデジャネイロ日本人学校で
過ごせたこと、仲間と出会えたこと、先生方
と共に過ごしたことを思い出しながら、次の
年に向けて、心を新たに歩み始めましょう。

○大変お世話になりました！

・令和5年度帰任教員

<在職3年>

○教諭 稲垣 新樹 (いながき よしき)
北海道教育委員会

○教諭 日浦 恵子 (ひうら けいこ)
東京都教育委員会

○教諭 藤澤 義栄 (ふじさわ よしえ)
シニア (岩手県)

<在職2年>

○教諭 中田 湖 (なかた ひろし)
青森県教育委員会



(総領事館にて：真鍋総領事様と一緒に)

<3月15日 修了式 校長講話より>

『星の王子さま (サンテグジュペリ)』を読ん
だことがありますか。先日リオ日学の図書室で
見つけて読んでみたところ、物語に素敵な言葉
を見つけました。

「ものは心で見ると」「肝心なことは目では見えない」
「一番大事なものは目に見えない」

(集英社文庫：池澤夏樹、訳)

星の王子さまは、自分の星に咲く1本の美しい
バラとことばを交わし親しくなります。しかし、
バラとけんかして、ひとりぼっちで星を巡る旅
に出ます。やがて地球に降り立った王子さまは、
キツネと友だちになります。お別れの時キツネ
が、「王子さまにとってバラはけんかをしてもか
けがえのない存在である」と気づかせてくれた
のが先の言葉です。リオの本屋で『星の王子さ
ま』を見つけ読み比べてみると、ポルトガル語
の方がよく伝わるように思います。

Só vemos bem com o coração.

「私たちは心でこそよく見える」

O essencial é invisível aos olhos.

「大切なことは目には見えない」

O mais importante é invisível.

「最も大切なことは目に見えない」

王子さまとバラの間に、目に見えない「絆」
や「愛」、共に過ごした「時間」がありました。
私たちリオ日学で考えてみると「目に見えな
いもの」とは何でしょう。友だちや先生方と一
緒に過ごした日々にある「愛・思いやり・こ
ろ・いのち・友情・時間・絆」だと思います。
この1年間を振り返ってみてください。リオ日
学ファミリーが築いた「絆」は目には見えませ
んが、心の中で描くことができます。思い出の
ひとつひとつが宝石のように輝き、私たちの人
生を明るく照らしてくれます。リオ日学で仲間
と出会ったからこそ、かけがえのない毎日を過
ごすことができたのです。

『明日へ』の合唱練習で、熊本先生が「音楽
は目に見えない。歌詞は紙に書いてあるけれど、
音は聞こえない。音楽を通して、帰国して大人
になって、思い出を自信にかえ、幸せに生きて
いきましょう」と話されました。星の王子さ
まの話と同じであることに感動しました。

これから別の暮らしが始まる仲間もいますが、
リオ日学で過ごした経験を心で感じ、自分たち
の未来を切り拓いていきましょう。

王子さまは旅の途中で出会った人やバラを思
いながら夕日を眺めます。みなさんはこれからの
生活で、どんな時にリオ日学を思い出すので
しょうね。もし不安に思う時があっても、「目
に見えないものこそが人生を豊かにする」と信じ、
次のステップに向かって歩いていきましょう。

○「明日へ」(作詞：稲垣凜和 作曲：熊本尚美)

～ 修了式の歌と合奏より～

ずっと前を向いて ポジティブに考えて
そんなこと言われたって 悩んでる

そんな自分が嫌でも ネガティブに考えても
未来へ向かって歩いているんだ

ほら明日へ向かおうよ 嫌なことなんて忘れて
ほら君もおいでよ みんなで走り出すんだ

ほら明日へ向かおうよ 辛いことなんて忘れて
ほらみんなで走ろうよ みんなで 明日へ

ずっと前を向いて ポジティブに考えて
その方が良いのかなって 迷ってる

でも ぼくはぼく 君は君
変わらなくていいんじゃない?
前向きだって悩んでしょ?
ポジティブだって迷うでしょ?

誰も完璧じゃないから みんなで力を合わせて
苦労も困難も悲しみも 乗り越えていこうよ



修了式で演奏する合唱と合奏の練習をしました。稲垣凜和さんが作詞をして、音楽の熊本尚美先生が作曲してくださいました。メロディー・リズム・ハーモニーが一体となった曲は日学の宝物です。

○ 高橋先生、ありがとう!



2月29日～3月5日まで、東京学芸大学院生の高橋奈々さんがリオ日学の様子を研究しながら、私たちの授業や行事のお手伝いをしてくださいました。百人一首大会、さよなら遠足、クラブ活動、教科やポルトガル語の授業、休み時間など、前からずっと一緒に過ごしていたかのように仲良く優しく接してくださいました。日本に帰って、ぜひリオ日学教育の良さを広めてください。



○ ボッチャは楽しい!



商工会主催のスポーツ大会の御礼にいただいたボッチャを、体育の時間にやりました。

目標のボール(白球・ジャックボール)にどれだけ自分たちのボールを投げて近づけることができるかを競います。弾き

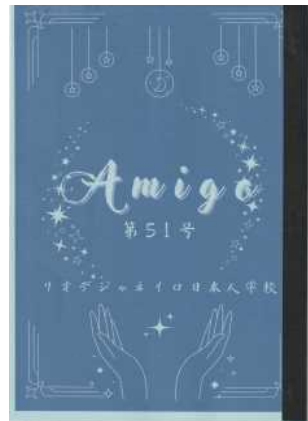
飛ばしたり、コースを邪魔したり、球を浮かして逆回転をかけて投じたり、「究極の頭脳戦」の言葉通りに楽しめます。5年生・中学部の男女対決は、女子チームの逆転勝ち!

○ 元気でね!



3月15日(金)を最後に、
稲垣日奏さん(小3)
稲垣瑛大さん(小5)
稲垣凜和さん(中1)
が帰国します。
楽しかった日々をありがとう。日本でも明るく元気に活躍してください。

○ アミーゴ(リオ日学文集)完成!



アミーゴが完成しました。ページをめくると、それぞれの思いがしっかりと綴られ、文章から子どもたち一人一人の顔が思い浮かんできます。寄稿いただいた方、先生方の文章にも、ご自身の体験や子どもたちへの思いが記され、何度も読み返したくなります。ずっと大切にしたいと思います。

○ 令和6年度派遣教員(内定)

～どうぞよろしくお願ひします～

- ・教諭 土屋 千佳(つちや ちか)
東京都教育委員会 中学校籍・保体
- ・教諭 佐藤 るみ(さとう るみ)
宮城県教育委員会 小学校籍・算数
- ・教諭 白砂 貴之(しらすな たかゆき)
静岡県教育委員会 中学校籍・理科
- ・教諭 山本 祥二(やまもと しょうじ)
シニア(千葉県) 小学校籍・国語

○ 今後の予定(主なもの)

- 3月
- 16日(土) 年度末休業(～4月10日まで)
帰任教員帰国日
- 4月
- 6日(土) 新派遣教員到着日
- 11日(木) 着任式・始業式・クラブ活動・
お弁当・白ポロシャツ着用
- 15日(月) 全校朝会 学校昼食会開始
- 17日(水) 身体測定
- 18日(木) 進路希望調査 避難訓練・
委員会活動
- 23日(火) 聖ジョージの日(祝日)
- 25日(木) PTA総会・子弟教育総会・
児童生徒代表委員会

< さようならの季節に >

Vai com Deus(バイコンデウス)は「さようなら」とあるが、文字通りの意味は「神と共に行かれますように」で、スペイン語のAdios(アディオス)、英語のGood-byに似ている。「神がそばにおられますように」と、別れた後相手の幸せを神に託している。日本語の「さようなら」は「じゃあね」と一方的な別れに聞こえてしまう。日本人からしてみれば、どの神?と聞きたくなくなるころだろうが、別れた後の相手の幸せを祈るなんてステキな話だと思う。いよいよ別れの季節だ。Tchau(チャオ)と軽く言うが、本当はVai com Deus! 皆さんの未来に幸あれ。日本での活躍をお祈りします。

お別れの言葉 ～帰任によせて～

<稲垣 新樹 先生>

3年前、初めてこの地に降り立った時、不安と期待で胸がいっぱいでした。しかし、そこにはリオ日学の仲間の温かい笑顔と心のこもった歓迎が待っていました。子供たちの純粋な瞳、保護者の皆様の温かい励まし、そして同僚の先生方の深い信頼。リオデジャネイロでの日々は、私の人生を大きく変えるかけがえのない経験となりました。出会った当初は幼かった子供たちが、日に日にたくましく成長していく姿を見るたびに、胸が熱くなりました。運動会で力いっぱい走る姿、文化祭で堂々と発表する姿、各種行事で楽しそうに笑い合う姿。ひとつひとつの思い出が、私の心に鮮明に焼き付いています。

異なる文化を持つ人々との交流を通して、視野が広がり、人間として大きく成長することができた3年間は私の財産です。この経験を活かして、帰国後は北海道で小学校教員として新たなスタートを切ります。子供たちが夢に向かって主体的に学び、たくましく成長できるよう、そして笑顔いっぱいで学校生活を送れるよう、精一杯努力していきます。

リオデジャネイロでの出会いに、心から感謝しています。皆様との別れは寂しいですがいつかまたどこかで会えることを願っています。本当にありがとうございました。

<日浦 恵子 先生>

わたしの髪の毛の長さは、リオデジャネイロで過ごした時間の長さを表しています。「長くなったな」と思う一方で、過ごした時間の感覚は驚くほど短い期間でした。

3年間の思い出のひとつは、今年の文化祭です。「自分たちの思いを形にする」というテーマを掲げ15人の児童生徒が「文化祭で何をしたいのか?」「どうすれば見に来る人たちとともに楽しめるのか?」について時間をかけて話し合い、準備を進めました。子供たちに文化祭を通して伝えたかったことは「思考力」と「行動力」を身に付けることであり、これからもこの力を発揮して欲しいと願っています。わたし自身これからも日本の学校現場で子供達に直接関わり、寄り添いながら、時には見守り、時にはともに考える教員でありたいと思っています。

派遣女性教員が1名という環境の中で自由なく仕事できたのも、学校長、同僚、そして保護者の皆様のご協力のおかげです。

4月からは東京都の教員として仕事が始まります。リオデジャネイロでの思い出も大切ですが、未来の自分の仕事や出会いにもワクワクしています。ここで出会った皆さんと再び会うことが、わたしの次の夢です。世界のどこかでお会いしましょう。

本当にありがとうございました。

<藤澤 義栄 先生>

リオでの生活は、太陽の熱と人の熱を感じる3年間でした。太陽の熱は、暑さです。不思議なことに日陰の爽やかな涼しい風も太陽の熱を一層強く感じさせました。人の熱は、カルナバルです。およそ3000人のチームがほぼ丸1年かけて準備し披露する山車(アレゴリア)とダンスと音楽に心動かされました。3年目にパレードに参加できたこともよい思い出になりました。

赴任後、2年目にコロナ禍が沈静化して落ち着きを取り戻しました。マスクを外し、店やレストラン、美術館などに自由にできるようになりました。

日学での仕事は、2年間通学バンと避難訓練を担う安全担当を、3年目は研修担当を務めました。銃声想定避難訓練はリオの生活の厳しさを感じました。授業では、中学生の数学を初めて受け持つことができました。数学の素晴らしさを感じながら、生徒と学習ができました。

地球の裏側ということばには、少し敏感になりました。同じ地球の地面に立っているのだから、どちらが表でどちらが裏とは思えません。

外国で暮らす経験をリオでできたことは、わたしの人生にとって有意義な経験です。この間、奇しくも巡り合うことのできた日学の皆さん、日系移民の方々、岩手県人会の先輩、パウロフレイレの研究者と実践者、ツアーガイド・レジデンスのスタッフの皆さんに深く感謝申し上げます。

<中田 湖 先生>

「先生、次これをこうしたらどうなりますか?」「先生、早く実験がしたいです。」「これができないならこうしてみればいいんじゃないですか?」

理科の授業中や授業が始まる前、このようなことを子どもたちからよく言われました。リオ日学は、日本の小学校や中学校のように完璧に整った理科室ではありません。しかし、限られた材料の中で、何とか実験をしようと試みるその姿勢に私はいつも驚かされました。その飽くなき探求心、粘り強い精神力、すぐ実行に移そうとする行動力、そして柔軟な発想力。そのどれもが私の心の奥底に眠っていた「理科ってやっぱ楽しい!」という気持ちを再び呼び起こしてくれました。日本では決してできないような手作り感あふれる実験は私にとってはかけがえのない思い出になりました。

私はこの3月で日本に帰任します。リオデジャネイロ日本人学校で、教師として子どもたちから多くのことを学ぶことができました。リオ日学での素晴らしい経験に心から感謝しています。そして、それを支えてくださったすべての方々に感謝の意を表します。

2年間本当にありがとうございました。

明日へ

2023

作詞：稲垣凜和

作曲：熊本尚美

ず っとま えを むい て— ポジティブに かんがえて—

3 Dm7 Dm/C G7/B G7 C
そん なこ と い わ れ た— っ て— な や ん で る—

5 C C Dm7
そん な じぶん が い や で も— ネガティブに かんがえても—
ず っとま えを むい て— ポジティブに かんがえて—

7 Dm7 Dm/C G7/B G7 C C7
み らい へ む か— っ て— ある いて る んだ— ほ ら
その ほ う が い い の か な っ て— ま よ— っ て る— で も

9 F C Dm7 G7 C C7
あし た へ— む か お う よ— い や な こ と な ん て わ す れ て— ほ ら
ぼ く は ぼ く き み は き み— か わ ら な く た っ て い い ん じ ゃ な い? ま え

11 F Em7 D7 G7 C7
き み も— お い で よ— み ん な で は し り だ す んだ— ほ ら
む き だ っ て な や む で し ゃ? ポジ ティ ブ だ— っ て ま よ う で し ゃ? だ れ

13 F C Dm7 G7 C C7
あし た へ む か お う よ— つ ら い こ と な ん て わ す れ て— ほ ら
も かん べ き じ ゃ な い か ら— み ん な で ち か ら を あ わ せ て— く ろ

15 F Em7 Dm7 G7 C
み ん な で— は し ろ う よ— み ん な で— あし た へ—
う も こ ん な ん も か な し み も— の り こ え て— い こ う よ—